



【テーマ】

第1回 スピード会話術

第2回 右脳会話術

中谷 彰宏 (なかたにあきひろ)
株式会社中谷彰宏事務所
代表取締役



早稲田大学第一文学部演劇科卒業、博報堂でCMプランナーを担当。その後、中谷彰宏事務所を設立。ベストセラー書の就職マニュアル「面接の達人」以来、就職、ビジネス、恋愛でつまづく若者向けに数々の指南書を提供。テレビ、ラジオ、舞台でも活躍。

【コンセプト】

私たちは日々、人と人のコミュニケーションを通じて生活を営み、ビジネスを行っています。相手の心に届く言葉をかけるにはどうすればよいのか、また、相手の言葉をどのように受け取って効果的なコミュニケーションを行ったらよいのか、今すぐ実践することのできるコミュニケーション術について解説します。

(講義時間 2時間)

【講義資料より】

叱る時、叱られる時の会話のポイント(1)

- 叱る時も叱られる時も会話ではいけない。
- 叱られる時のポイントは、「ごめんなさい」を早く言うことだ。
- 早く「ごめんなさい」を言わないと持ち玉を多く出される。一度持ち出されると止まらなくなる。
- 叱り過ぎはマイナスしかない。最も早く叱る事が叱られた人が最も反省するという効果がある。
- 対処が難しいのは、さっきまでニコニコしていた人が突然怒り出した瞬間だ。
- このような場合は、「相手が期待していた何かがあった」ということを思い出してみることだ。

Copyright (C)2008 Business Breakthrough, Inc.

まとめ

「ためになること」より
「好きになる話」

(c) 2003 Akihiro Nakatani

Copyright (C)2008 Business Breakthrough, Inc.

11